

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 1月号

2024.1

0. はじめに

明けましておめでとうございます。2024年が始まって、はや1か月が過ぎようとしています。去る1月1日(月)には石川県能登地方を中心とした地震により甚大な被害が発生しました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

1. 共通テストの概況について

1月13日(土)・14日(日)の2日間にわたって、令和6年度大学入学共通テストが実施されました。15日に自己採点が行われ、各高校ごとの集計が県内でまとめられました。5教科型の平均点で900点満点中600点を超えた県立高校は5校ありましたが、本校もその中の1校として県内5番目の成績をおさめました。また、文理別の本校の平均点は文系で6番目、理系で5番目となり、善戦したことがわかります。総合得点が800点を超えた現役生は、県内の県立高校合計で29名と、昨年度の13名から大きく人数を増やしました。受験は全国の高校生が相手ですので、私大一般入試及び国公立大2次試験に向けて、気持ちを引き締めて直前まで内容の充実した学習に取り組んでもらいたいと思います。また、近年は、「ミスマッチ」によって大学をやめてしまう学生も多くなっておりまうので、倍率や知名度だけでなく、本当にやりたいことは何か、研究してみたい分野は何かといった要素を十分にご検討ください。

2. 3年生のこの時期

いよいよ本番です。これまでの努力が結果に結びつき、良い成果が得られることを保護者の皆様と共に心より祈っております。最後までお子様のサポートをよろしくお願い申し上げます。

さて本格的に受験が始まると、他のことにはなかなか気が回らなくなりがちですが、卒業に関する大切な連絡も学校から届けられています。そちらにも十分にご配慮ください。

また2月に入ってから、学校に登校して国公立大学の2次試験や私立大学の入試対策講座に参加している3年生も多いと思いますが、高校入試も始まり、学校に入れない日もありますので、担当の先生方と連絡を密にとり、食い違いがないよう注意してください。

学校から借りている書籍や進路資料の返却も忘れずをお願いします。受験が終わりますと、新たな下宿先や新生活の準備に追われ、高校のことを忘れがちになりますが、保護者の皆様からのご指導いただきますよう、お願い申し上げます。

3. 2年生のこの時期

3年生の姿を見ながら、いよいよ自分たちの番が来たと感じ始める時期です。来年のコース希望調査の結果もほぼ固まり、3年生になる準備が着々と進められています。この時期に考えて欲しいこととして、まず第一に、各自の希望する進路の特色や志望大学を中心とした大学ごとの違いを調べておくことが挙げられます。前述したとおり、現在は大学生の退学率が非常に高なっており、その割合は、難関大学においても大差なく20%~25%にも達しています。そのミスマッチを防ぐためには、大学入学後の学習内容及び研究活動が、どのようなものかをあらかじめよく理解しておくことが大切です。

昭和の頃の大学とは大きく様変わりしているため、昔のイメージのみで選択するのはとても危険です。ぜひ、新たな情報をキャッチして、お子様と十分に話し合い、最善の選択ができますよう、お願い申し上げます。東北大学や筑波大学などの本校生に人気のある国公立大学においても、「自分のやりたいことと違っているから」という理由で退学していく学生がいるようです。

「入学したら、自由で楽しいことだらけの大学生活を過ごせる」というイメージは昭和時代の神話となっており、もはや、そのような甘い考えの学生は就職活動で競争できない時代に突入しています。外国籍の労働者が多数参入し、外資系の企業も増加しています。東京には各国からの移住者が増加し、地域ごとにコミュニティを形成しています。新しい時代に合わせた大学生像をお考えください。そしてお子様の意見を十分にお聴きください。

4. 1年生のこの時期

2年生の欄で紹介しました上記の内容をよくご覧ください。1年生だからまだ受験には関係ないということではありません。大学の情報を早期に集めて、準備していただくものが多々あります。高校時代の活動報告書や大学での学修計画書の提出など、1年次から準備していただく書類も多くなっています。3年生になってから頑張れば何とかなる訳ではありません。まずは毎日の授業にしっかり取り組み、定期試験に全力で臨むことが大切であることは言うまでもありませんが、今からできることを考えていただき、お子様と話し合う時間を取ってください。

進路指導部